

● アジア地区の演奏, 交流, 発表等について

山本純ノ介

まず東アジアの大きなイベントから。韓国の国立アジア文化殿堂開館1周年記念フェスティバル。主催は国立アジア文化殿堂、主管はアジア文化院。世界20カ国約120人のアーティストたちによる公演。4日間の音楽祭。今年のメイン・ジャンルは「創作音楽」。世界各国の作曲家を対象にした公募入選作、権威ある作曲家への委嘱作品を演奏。実験的で革新的な作品の演奏を集中的にプログラミング。アジア!アジア!アジアがテーマ。

01 国立南道(ナムド)国楽院11月24日(木)芸術劇場ロビーオープンホール 韓国の音。国内外の参加者を歓迎する代表的国楽の演奏

02 オープニング・コンサート『アジアのためのシンフォニー』光州(クァンジュ)市立交響楽団

[指揮_キム・ヨンオン/協演_真鍋尚之]11月24日(木)劇場1。
・マイケル・ドアティの韓国初演舞台『2011年グラミー賞創作音楽賞受賞のマイケル・ドアティ作曲『アメリカン・コーゴシック』国内初演。創作管弦楽5作品の演奏。韓国、ドイツ、アメリカ、中国の同時代作曲家たちによる演奏。光州(クァンジュ)市立交響楽団が全体創作曲に挑む舞台

参加アーティスト(作曲家)_マイケル・ドアティ(米), シュテプラー(独), チャン(中国), チョン・スンジェ(韓国), パク・ヨンラン(韓国)

03 アジアリズムの再解釈『アジア・ビート』ソウル・モダンアンサンブル

[指揮_シム・ソンミン]11月24日(木)劇場2。
・イギリス, インド, 日本, 韓国系ドイツ人作曲家による打楽作品。アジア固有のリズムと同時代の文化の響き
・ACC委託制作公演。黒い鉄筋構造物の中でのサラウンド演奏
参加アーティスト(作曲家)_クリスティアン・メイソン(英), パラムビル(インド), 塚本瑛子(日本), チョン・イルリョン(韓国・ドイツ)

04 同時代マスター『ジャパン・モダンアンサンブル』 ジャパン・モダンアンサンブル

[指揮_パク・ジョン]11月25日(金)アトリエ1。
・日本の新鋭8人組クラシック演奏家の韓国デビューステージ。世界的に名声を博する作曲家, アジアをテーマに公演

参加アーティスト(作曲家)_マイケル・ドアティ(米), アレン・ゴーション(仏), ユーリッヒ・クレペイン(独), ギュンター・シュテインケ(独), パク・チョンヤン(韓国), ペク・スンウ(韓国)

05 みずみずしさを集めた中国楽器
『台湾リトル・ジャイアント(小巨人)室内管弦楽団』台湾リトル・ジャイアント(小巨人)室内管弦楽団

[指揮_チセン・チェン]11月25日(金)劇場2。
・台湾と香港を代表する同時代の作曲家と中国楽器のランテーパー。6つの作品, 韓国初演。中国伝統楽器, 最大化された技巧の空間。

参加アーティスト(作曲家)_チ・チョン・リー(台湾), チン・チョン・ヘイ(香港), パン・ファンロン(台湾), チャオチン・ウェン(台湾), ツーセン・リー(台湾), クラランス・マック(香港)

06 ジョン・ケージ, リバイバル 『ホン・シンジャ: 4つの壁』
[舞踊_ホン・シンジャ/ピアノ_多田正美]11月25日(金)芸術劇場ロビーオープンホール。

1985年ホン・シンジャとジョン・ケージの歴史的コラボレーション_韓国現代舞踊の先駆者, ホン・シンジャと現代芸術の巨匠, ジョン・ケージの作品リバイバル公演。

07 ジャンルの壁を越えたシュテプラーとシム・グンス『参加(Participation)』

[パフォーマンス演奏_シュテプラー, シム・グンス]11月25日(金)芸術劇場ロビーオープンホール。
・実験的パフォーマンスのパノラマ_20世紀マスターピースによ

る有機体的調合のステージ。観客参加のステージ

08 洗練された夜のエレクトロニック音楽
『ブラック・エレクトロニカ』9人のアーティストによるエレクトロニック音楽コンサート

11月25日(金)複合2館SPACE-2。
・ポーランド, イタリア, シンガポール, 韓国のアーティストによるエレクトロニック音楽の公演。黒いサラウンド空間で出会う電磁波オデッセイ。

参加アーティスト_ジエリンスカ(ポーランド), テルージャ・ローリー(イタリア), キム・ヘリム(韓国), イム・ヒョンソク(韓国), チョン・スィー(シンガポール), シン・ソニア(韓国), ムン・ソングン(韓国), キム・ヒョンジョン(韓国), チェ・ヒジン(韓国)

09 ピアノ連弾曲による創作音楽会『ユウコと小さな仲間たち』
演奏_ユウコ・ナカダカリ(ドイツ・日本), 光州(クァンジュ)地域の子供たち。11月26日(土)劇場2。

演奏会のため招聘された7つの創作連弾曲初演
参加アーティスト(作曲家)_キム・ウネ(韓国), シン・ウォニ(韓国), イ・ヒョンミン(韓国), チェ・ウォンソ(韓国), ハン・テソク(韓国), イ・ムンソク(韓国)

10 音楽会『ACC国際作曲コンクール』本選。クラシカル・アンサンブル 11月26日(土)劇場3。

・全世界の作曲家を対象に公募により選抜された5作品, 実演審査のための演奏会。ジュリアード出身の実力派。シカル・アンサンブルによる全曲演奏

参加アーティスト(作曲家)_ノ・スンジュ(韓国), セトアル・ドウィ・カホ(インドネシア), スコルディス(キプロス), タク・クエン・ヒュー(香港), パタルリ(ウクライナ)

11 西洋楽器にのせたアジアの音
『香港ニューミュージックアンサンブル』

[指揮_シャロン・アンドレア・チョア/協演_カン・クォンソン(声), キム・サンヨン(大琴), オム・ユンスク(伽耶琴), チャン・ウェイリアン(笛子), サンティ・ウドムスリ(ラナド・イク), パラド・アティパタヤオン(クイル)]11月26日(土)劇場2。

・香港で最も進歩的なニューミュージシャン(CNN)_CNNニュースで放送された香港のニューミュージックアンサンブル2008年結成以来, 国際舞台で約100曲の現代音楽を演奏している実力派グループ。独特な楽器構成と音色への挑戦_タイと韓国, そして中国楽器が弦楽アンサンブルで協演するまたとない作品構成

参加アーティスト_コウジ・ナカノ(日本・米国), リカルド・ロレンツ(米国・ベネズエラ), ジュエル・ホフマン(米国), チョン・ヒョングク(韓国), チェ・ジョンファン(韓国), チョ・サパン(韓国), サンタ・ビス(ラトビア), ジョシュア・チェン(香港)

12 ACC合同制作: 中国のタオ・ダンスシアター「6」と「8」タオ・ダンスシアター

11月26日(土)/11月27日(日)[2回公演]。劇場1。
・中国の北京を拠点にした現代舞踊団_2008年創立以来, [Numeric Series]の「2」から「8」まで世界約40カ国で海外公演。ACC共同制作_中国のタオ・ダンスシアター「6」と「8」。

次は日本の現代音楽演奏会。日本作曲家協会主催, 第36回奏楽堂トーク&コンサートシリーズ。アジアの伝統, アジアの現代2016

第1夜 2月23日(火)合唱「魅惑のひととき」
内田満開: 混声合唱組曲「祈りの歌」より《冬の言葉》遠藤雅夫: 合唱小集より “ワクワク”静かな雨の夜に”

熊澤住子: 新川和江の詩による二つの混声合唱曲 1.自然よ 2.日々あたらしく。近藤春恵: 混声合唱組曲「遊び庭」(あしびなあ)より Burlesca。近藤裕子: 石巻の小学生の詩による「ことば」。西田直嗣: 萩原朔太郎の詩による混声合唱のための「変身物語」より「蟻地獄”竹”。山本雅一: 合唱とピアノのための見る。台湾民謡 馬 水龍編曲: 西北雨
合唱: 洗足学園大学コールファンタジア。指揮: 辻 秀幸, 西田直嗣(自作品)

ピアノ: 曲尾雅子, お話: 両日とも松下功(作曲家)会場: 台東区生涯学習センター ミレニアムホール

第2夜 2月24日(水)尺八 その奥深き響き!
川島素晴: 尺八(五孔一尺八寸管)のためのエチュード。坂田拓也: 松涛五題。二宮 毅: 松風

ブルース・クロスマン(オーストラリア): 光の春へ。陳 明志(香港/中国): 一念。流祖 中尾都山: 寒月

演奏：工藤煉山(尺八)、田辺道恵(尺八)、村澤寶山(尺八・箏)
ゲスト出演：藤原道山(尺八)

更に京都市立芸術大学学生会館ホールで日本現代音楽協会、日本作曲家協議会の後援による「国際現代音楽祭アジアの管絃の現在2016《禱聲》地籟の円環 初源の天庭」が開催された。

5月22日(日) オープニングコンサート／トークセッション／合唱コンサート

小松淳史：聲の円環(世界初演) 北條美香代：玉響より IIV (2013) 朴守賢：白の御神樂(2012) 前田克治：絃の音 [いとのおと] (2012) 諸橋玲子：おとなひII (2013) ラインハルト・フェーベル：Die Masken des Pierrot [道化の面] (2013) 坪能克裕：Celestial-Vib (2007) 伴谷見二：風の詩II 余白の旅を求めて(2014)

・トークセッション 聲禱一声の祈り

合唱コンサート増田真結：平安末期の古楽譜解釈による合唱組曲集 (2015) トマス・タリス：おんみのほかにのぞみなし (1570) 清水慶彦：異形の法楽 奥豊後邪宗祭儀遺聞(2014) カルロ・フォルリヴェジ：Spem in Alium (2005) 若林千春：魔法陣…数迷宮(1995)混声合唱と鳴り物のために(1995) 稲谷祐亮：澗淵 (2015) 聖ヒルデガルト・フォン・ビンゲン：Ave generosa (12C) 中村典子：天聲地韻vox caelum, terra rithimus(世界初演)

・チェロ：大西泰徳、コントラバス：赤松美幸、石塚廉、ヴァイオリン：柳樂穂乃、藪野巨倫、ヴィオラ：江川菜緒、フルート：青木浅間、トロンボーン：武内紗和子、和田翠、田中功平、ピアノ：前田克治、鍵盤ハーモニカ：伊藤慶佑、西村彰洋、ピアノ・鍵盤ハーモニカ：小嶋稜、パーカッション：陶山美輝、上中あさみ、ヴィブラフォン・パーカッション：宮本妥子、十七絃琴：麻植美弥子、箏：福原左和子、中川佳代子、横山佳世子、エレクトロ：山口友寛、稲谷祐亮、声：中部真美、ソプラノ：上野洋子、和田悠花、テノール：楊雪元、指揮：石原祐介、若林千春、三原寛志、中村典子

・ensemble clumusica：伊藤黎、中川郁文、村辺恵奈、丸山晃子、石堂藍、中原加奈、片山千聖、瀬戸口文乃、喜納和、中川智樹、池田真己、宮尾和真、菊田義典、大井卓也、内山建人

来日公演では、6月30日(木)東京芸術劇場コンサートホール。

韓国光州市立交響楽団が、日韓の友好関係を深めるため楽団創立40周年を記念し東京で演奏会を開催。

ルーベシユタイン国際、ジュネーブ国際、高松国際、プゾーニ国際各コンクールで1位の大注目若手ピアニスト ムン・ジョンと指揮者 金洪才と共に来日。朝鮮半島の南西部に位置する光州(クァンジュ)は、軍事独裁政権に反旗を翻した1980年の「光州事件」で有名。韓国の民主化運動の拠点。現代芸術の祭典「光州ビエンナーレ」など芸術文化振興とともに経済都市として発展。

11月19日(土)国立音楽大学創立90周年記念事業としてアジア音楽大学学長会議が開催された。

演奏会を伴ったシンポジウム「社会におけるアジアの音楽大学の社会的役割」がテーマ。国立音楽大学6号館大講義室&講堂小ホールで開催。パネリストは台湾師範大学、マヒドン音楽大学、ホーチミン市音楽学院、上海音楽学院、チュラロンコン大学、ヨン・シュウ・トウ音楽学院、国立音楽大学。コーディネーター：久保田慶一(国立音楽大学副学長・教授)通訳：大島路子(桐朋学園大学講師)16時から演奏会。

曲目 一柳慧/札幌3〜15 奏者と指揮者のための (1962)、カノクバク・チャングウイッチュカーン Mini Rondo for Many Grosso On "A"(2016)(世界初演)、譚盾/内部奏法ピアノと10楽器のための協奏曲(1995)、グエン・ティエン・ダオ/カイ・ミン前奏曲(1999)、馬水龍/弦楽四重奏曲(1970)。藤井喬梓/【2016年度国立音楽大学委嘱作品】光の海〜クラリネット、ハーブと弦楽合奏のための二重協奏曲(2016)(世界初演)演奏、指揮 板倉康明 クラリネット 武田忠善 ハーブ 三浦麻葉 ピアノ 井上郷子他

最後に吹奏楽による日本、中国、韓国の親善交流。8月11日から13日にかけて、第21回済州国際管楽祭に合わせて、韓国の済州島で日中韓吹奏楽交流。済州国際管楽祭は、世界中の管楽オーケストラが集う舞台公演であり、アジア最大の音楽祭の一つ。日中韓吹奏楽交流は、東アジア文化都市である済州市、寧波市及び奈良市、済州国際管楽祭組織委員会、ワールド・カルチャー・オープン(World Culture Open(WCO))からの協力を得て開催された。